

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-02

能口伝之聞書

一五

申永圖書

能傳

好金

立金

十八第一入書物

七

甲辰圖書

丁酉長四年八月十五日
老父物持ニ年々老々たるものありたるを
シキハアキトノ役者アリミテナトヲ托ノ
フトキミツメルト又后座ノウミ^{ミツ}イタシ
ハラスアキタルト又南ノサシタキトキイタ
ニテリフサケハツニリテシキトナリ又年々
カスキテ見エテヨソハカルヘキト又フサカリテア
シハ年々テカスキトシラテシキ

一 月ニハミセアラタニキシイテツカワナルハミ

フルツカハラカノれニ托ハナカニナリ
但社タニナトアル根ニハキシイナルモシト
高貴物持セシトの時老父物持

徳田留分 甲辰年

文禄二年九月

一 玉井地内松井岡ニ松林風物持

不長スルモノナリ

一 月ニテワレシク時中岡ノサキニシク

ヤ月後ニテ白カシラミヤノ村ニシツカ

ワカリキヌノエニ袖ナシキヤリ石更ハセヌ

一同エリシリキルノナキ

一ハナニキ小ヒシノエヘロケテサクルフゼナシ何モ小猿ノ
ノワリ

一海ノオケカセハミラハカクキ大勝アリトテセ

一番ニワツテ入ヒリシ之刀ニ手シカケヨセイシスル
之テスワウノ肩シスキテハ又ハセリ

一此場中ニ松苗極多 石更ハセヌ

一去禄二年二月ノ海老堂法泉祖侯 此後法泉

ハ至天女親世孫高長俊ニサケル也天女
出テカクニヒカシテコトリワト涙出ス

一月沙金ハイカニセリワウニ之友祝舞之流ニシテ
は舞下_ル者_ニ 夫之_ハハタカサニ舞下_ル者_ニ通明

寺ニテトヤイ舞下_ルニテシス今ニテハ舞下_ル者_ニ

一月山折_ル所_ニ於_テ神事ハ親世孫更_ニ舞下_ル之_ハ神事_ニ
法泉ヤトハレテハクハ爾沙金ヤリを破折ノ

天女ハ所_ニ山折_ル所_ニ於_テ神事ハ親世孫更_ニ舞下_ル之_ハ神事_ニ

法泉ヤトハレテハクハ爾沙金ヤリを破折ノ

一 本ヤナトテ無に云クハトモ其後大衆酒シヤ
縁光る所へハタシハ江を渡り目ヒテ其ヨシニテ酒シ
ノ一留ト時ハ更ニ其年ヨリクハ何ナリトモ其年
キカセヨツツイセウニ酒ヲテモ其年モ其物
ナレ(シト云クハト)公レ時ハ更ニ縁光る所ヨリ
ロニハイトキコヘタリ

一 六代キリ子ツシテ以ノモセニカクハ云テナリトテ
酒シモニカクセタセタリトテモニカクカサニテ其
年相ニテ其年トナリ

一 一々あるアイルノ遠く彼處ハ其年位ニウタリヘシ
ノ位ニ遠テモ彼ニ位シナリハハフカクノ其年
紀ヨトテモタレト云

一 一國イロシヌ物トテ其年ニシシクル人持ナレシ
キライクルトナリト云

一 一此はハロキノモセクナトシモワキノカホシニテ
口は其方ニクル也ト云

一 一其年彼カニコノケムスヲノツニ又アコキハタマニ

一 一其年其年ヨリ山タラキ其年カレ時は其年
キヤウ

柳子ニハラスズイワカニナルクテセナキセ
一 ラニシヤウサノミ 柳子ニアハセタルニ又アハマセタル
何ハ様カリノ同サツノト入ル何ハ様ホトヨリ
未スラリト入

一 自樂天中入ラニシヤウニニクサリナテアユミ
ヨシ

中入ニツキシクラル好意同アルキヤリノルニテセ
ナクノウスニテセナシ

一 スヘニ天物ナリ似合テハキフニミモアルヘシ

リカヘトジスル

一 スアクセウ月ハカチ入テシソニニキカハナシトセ
耐ナル同ハヤキハタリキハアルミシ

一 吾耐人ヘニミハカリユリトアルクヘシ

一 長後ニモタリウケルモカト云トアリテナシ

一 長後ニモタリウケルモカト云トアリテナシ

一 長後ニモタリウケルモカト云トアリテナシ

ワナテイアハルモホサハナシ

ヤク風サトハミシ先ニセナリシトシクシテサ
ラリトせん

すゑに人時カクヤニテ、
元来子同子タカキトテ又ニテシヤセテキニテセル

在修(由)老龍江象長キ^後ラド法

一 燈丸車^ノルエヤノトクノ車ツシ候スワウ
三人^ノ出キヨツ入^ノ車シセセミル月記
小次之類幼少ノ時父長後月シフサカスル
ソノ^三月シヤサテスル

一 舊儀ツタカツラニテカシイニノサト

アリルト舞又^後之^後カイツノ心アル

(キ)ヤニセツカハシメハヤス報タん云トテ^後

一 舟舟^ノ中入^ノ心アリイカニトミシシテ^後

シムヌアリ^後供昌^ノ又舞ニ友メタルシナ而

石備^ノテ法テソノ^二口カシウタイテ^三マソヨカル

ヘケシ又舞シニワフアニキト云タル^二ニ^三セ^四セ^五セ^六セ^七セ^八セ^九セ^十セ^{十一}セ^{十二}セ^{十三}セ^{十四}セ^{十五}セ^{十六}セ^{十七}セ^{十八}セ^{十九}セ^{二十}セ^{二十一}セ^{二十二}セ^{二十三}セ^{二十四}セ^{二十五}セ^{二十六}セ^{二十七}セ^{二十八}セ^{二十九}セ^{三十}セ^{三十一}セ^{三十二}セ^{三十三}セ^{三十四}セ^{三十五}セ^{三十六}セ^{三十七}セ^{三十八}セ^{三十九}セ^{四十}セ^{四十一}セ^{四十二}セ^{四十三}セ^{四十四}セ^{四十五}セ^{四十六}セ^{四十七}セ^{四十八}セ^{四十九}セ^{五十}セ^{五十一}セ^{五十二}セ^{五十三}セ^{五十四}セ^{五十五}セ^{五十六}セ^{五十七}セ^{五十八}セ^{五十九}セ^{六十}セ^{六十一}セ^{六十二}セ^{六十三}セ^{六十四}セ^{六十五}セ^{六十六}セ^{六十七}セ^{六十八}セ^{六十九}セ^{七十}セ^{七十一}セ^{七十二}セ^{七十三}セ^{七十四}セ^{七十五}セ^{七十六}セ^{七十七}セ^{七十八}セ^{七十九}セ^{八十}セ^{八十一}セ^{八十二}セ^{八十三}セ^{八十四}セ^{八十五}セ^{八十六}セ^{八十七}セ^{八十八}セ^{八十九}セ^{九十}セ^{九十一}セ^{九十二}セ^{九十三}セ^{九十四}セ^{九十五}セ^{九十六}セ^{九十七}セ^{九十八}セ^{九十九}セ^{一百}

セ^二セ^三セ^四セ^五セ^六セ^七セ^八セ^九セ^十セ^{十一}セ^{十二}セ^{十三}セ^{十四}セ^{十五}セ^{十六}セ^{十七}セ^{十八}セ^{十九}セ^{二十}セ^{二十一}セ^{二十二}セ^{二十三}セ^{二十四}セ^{二十五}セ^{二十六}セ^{二十七}セ^{二十八}セ^{二十九}セ^{三十}セ^{三十一}セ^{三十二}セ^{三十三}セ^{三十四}セ^{三十五}セ^{三十六}セ^{三十七}セ^{三十八}セ^{三十九}セ^{四十}セ^{四十一}セ^{四十二}セ^{四十三}セ^{四十四}セ^{四十五}セ^{四十六}セ^{四十七}セ^{四十八}セ^{四十九}セ^{五十}セ^{五十一}セ^{五十二}セ^{五十三}セ^{五十四}セ^{五十五}セ^{五十六}セ^{五十七}セ^{五十八}セ^{五十九}セ^{六十}セ^{六十一}セ^{六十二}セ^{六十三}セ^{六十四}セ^{六十五}セ^{六十六}セ^{六十七}セ^{六十八}セ^{六十九}セ^{七十}セ^{七十一}セ^{七十二}セ^{七十三}セ^{七十四}セ^{七十五}セ^{七十六}セ^{七十七}セ^{七十八}セ^{七十九}セ^{八十}セ^{八十一}セ^{八十二}セ^{八十三}セ^{八十四}セ^{八十五}セ^{八十六}セ^{八十七}セ^{八十八}セ^{八十九}セ^{九十}セ^{九十一}セ^{九十二}セ^{九十三}セ^{九十四}セ^{九十五}セ^{九十六}セ^{九十七}セ^{九十八}セ^{九十九}セ^{一百}

一 石^ノ破ノ手^ノ実^ノ桐ノ風^ノマニモ名^ノニ^三白^ノ河^ノ河^ノ

首^ノニ^三河^ノ水^ノシ^ノ分^ノシ^ノ神^ノシ^ノカ^ノ入^ノヤ^ノセ^ノ胸^ノ心

ヤ^ノタ^ノ身^ノツ^ノサ^ノト^ノアラ^ノク^ノ云^ノハ^ノニ^三花^ノサ^ノニス^ノセ^ノソ

一 外計ニ云テ吉ニ 富田書物 序ノ傳受

一 言妙クリハッし草本ノセクシモツト云テ吉ニ

シクルロキハ草本ノセクシセクト云テ吉ニ

同六八

一 九ノヒリシテ流告ニ

一 祝言下ケ流ヨリ

一 人ノ功者ニイキメヨリ

一 永クウタヘトアルトモ云流タル小多ノ世舞シ

て流ニ

主事

一 万ノナキシハヤ流云をフアルシハヤをコト云

一 解本ハヤ流ニテ是へ功の世ヨリ然流ニテ是

一 流云長流クナキ物所産敷ニテ是

一 同ツルキニテハライヌナホウ同世産物産ニテム

一 流云少流ヨリ打ニニハ常ノコトニハ打物ヤ

一 二流ニミキテ流テ 子云 云云を流流云云

一 目シ 目シ 目シ

一 右流シ石テの度敷ニテ七流ニテセシトメクハ時を補

本國海軍ニ似タル物ヲモシテハニテ櫃ノ奔逸イル
内左波リツヘイトシテ打ル

1. *Quercus*

白々三怖壯多入之只七去杜多公絶力一周

ち破力にう所力にう力にへなうてきサミツメテ

カニヲ打熟キサニシテクヒキクテ汁ニテ煮ク

折ニハカニテ上ルカニラニ折也白ハ朱ノ

根牟へつアチサクスフリトエくそ前也

ノハニヤウノ

一四

白ハタキハハシノは露トモナクスフリトアリシユルホ

常ニ五フトシ

1

玄公へ高直玄徳はヨリ玉シキスツニラフ也

亡_レ又クツロキナ_レハ_レ又キ_レ後ニ_レフ_レリト_レ思_レフ

1

日々なるや、口力三、心力^{ab}ノラス、体ニテナレ、業

カニウニを、ウニスミでウニの殻を洗う。

15

日在、是ハ
力ハ三九ハ是キ力又ニヨリ拘子江ニ

Chloro

ナル心アリそ^レ福ニテニマシ付ヘシ

—

カヅラキ
ツタカヅラミテカシイニメテアリ

クサシニユリト、ハヌナリトハ、石ヲアリナシニチ

又神下ニ礼言ヤニセト云フしてテをフアリ

キサニテ打アクル

一 ^{百五十}百五十石散常ノ物子ノ常ノアサニテナシテア、

トニツケテカキ物子ムツカシキ、^{石五斗}石五斗、^{此説云}此説云

一 ^{石五斗}石五斗、^{此説云}此説云

一 ^{ハテノ根}ハテノ根、^{此説云}此説云

一 ^振振、^{此説云}此説云

一 トクサ 小尉スウワ太口エホキスナリセウカニ、

ワキニシニイアリ、^{此説云}此説云

一 ^玉玉、^{此説云}此説云

一 ^{上ニ腕}上ニ腕、^{此説云}此説云

一 ^{ニツカ}ニツカ、^{此説云}此説云

一 ^{ニツカ}ニツカ、^{此説云}此説云

一 ^{フアリ}フアリ、^{此説云}此説云

一 ^{サヤ}サヤ、^{此説云}此説云

一 ^{ハヤ}ハヤ、^{此説云}此説云

一 ^畜畜、^{此説云}此説云

一 ^{ニツカ}ニツカ、^{此説云}此説云

一 切セケン様ノ取カルキサミニイカセカシ

一 ミツナキヨウニ打中ぬ様 ていへ

一 海女セミタテハヤス者トウラシセテ海シ

イタケハ振急くこり海人 ていへ

一 女良花ハハキスルニアタハスイセセナミ

ヨリ打タルキサミアリ

一 羽衣 初アイシヤウ衣ウケトリテヨリイ

カミモウキヤカミヤシシカケアカリ友心カク

一 少頃云家ノ花足イカモふくウキヤカミヤ

一 云 雲堂落人ノ中トアリ

一 しきるる我ハ地ニ子親世ハ四舞ナシハカク

フト云クルト

一 テンクワニカ却リトハゾウ

一 羽衣 初アイシヤウ後悦人 ていへ

一 小娘ノアイシライノ目ノまじふは物作 ていへ

一 花シセナカノウスルニ又 ていへ

大原ヤ

一 押くサカリハハ振子ヤカミ ていへ

カミヤス カミヤス

一四 物の中 徳アテリミヨリナキ同ハヤシハイニ

カシ入テハヤスハ川ニツカ

一五 ウキ舟カツラ井ツキリハテニツカナリ

一六 物子ノハニミリノコト 口口口

一七 衣ノ席 衣を脱一衣ニ白雲ニ散る川をま

方白雲シ一衣ニ散る衣を大川神ノ方とををせ

記したる

一八 曲舞ハヨトミノコト

一 曲舞ハヨトミノコト

一 曲舞ハヨトミノコト

一 曲舞ハヨトミノコト

一 曲舞ハヨトミノコト

一 曲舞ハヨトミノコト

一 曲舞ハヨトミノコト

一 曲舞ハヨトミノコト

一 曲舞ハヨトミノコト

一 曲舞ハヨトミノコト

此ハサカノ心合佛ノ云々中人ホトニサナキ
人ツツし申合得ニニイラハヤト存ト

一 後ハ龍九郎又治新傳又國ノ人故、

少波舞草

一 万葉ノト 一月ツカイノト 一カノ入取片

一 氣流ノト 一列ノモレノト 一ノヤノト云々

万葉相傳ノ書

一 万葉ノト云々 一 治新傳ノト云々 一 三篇ノ書

万葉ノト云々

以上十一ヶ条云々十五次月日ノ書

記於此

一 弘公一社ノ一長傳一惠卷一礼曲

と云々ノ物と云々

・ ・ ・ 本ノ書と云

・ ・ ・ 本ノ書と云

・ ・ ・ 本ノ書と云

・ ・ ・ 本ノ書と云

一 弘公一社ノ一長傳一惠卷一礼曲

もあてち波せはなほ波あさうやとる波とて
あそびとてあひうてや休まのこゝろあて
るもの相傳へ

- 一 揺めうの鼓への今のつきあくるるを
- 一 今人の胸あはすもれとまゆに叩く度とそ
もあはれ打まうとてあひかるとる波のた
いふ三つをこ
- 一 三打るれ外物まをきうて後ろをたやう
打へ

一 鼓とて云い、さ紗の鼓といふはねのま
ことめてたうをれまうとてあををふ

一 悲慕とて云へるわいとおととまう我を
やうふとて人のとふとてまをいふ

一 礼曲とて云へるうのほろやうのれは
まふあを云へる波とて

一 舞舞のうゆのううまう今て拍を
とあててつあてとあを

一 舞ハ二舞の礼と

一 源氏物語の源氏物語の後継者たる
ルとて記しておかしなところありけり
はつた

一 天竺の舞のあらうすゝあらうす

一 この舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

一 舞のうらうら舞のうらうら

なりとちやいふべし

ふはり

一 軍の神、舞下るゝとて、高砂、伏見、

らへ、傷や、すね、は、き、て、と、ち、や、い、ふ、べ、し

一 さ、い、い、移、り、と、は、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

一 舞、下、る、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

右、の、方、れ、あ、つ、て、る、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

一 て、目、の、端、は、あ、つ、て、る、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し
と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

右、の、方、り、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し、と、ち、や、い、ふ、べ、し

さへもあつたにやうなうへい

一 浅茅のこそそとろろ指おとすべし

一 折筒の根こほつてくすしき一ちう三ヨ

ノ算ナシハニオトてリヤサ(ニ)

一 いたし露すき、風久すも同くいりて

わくちと(一)

一 おも 飯え 王受はあいうりわくち

一 月陽のちうちをたふにそなたのちうちをたふして
は母まうくの二強月ゆへおなと同一

一 物きあふ一せうわてし治事あてしき

一 一本舞下はもしある右舞下はしある

一 舞下ありとのちうちもてりては、
さうさうニツつて、あつて、ちうちのうへに

ちうちのうへにちうちのうへにちうちのうへに

ちうちのうへにちうちのうへに

一 江初里廿いやは華笠あはれ

一 湯子あはれはうくはまはあはれ

さうちあはれはあはれはあはれ

一
五

一 扇拍子 （カ） 夕、ミニ付テおに様く
 ノハカナノサキニテ打シ扇シ之テおく
 佐口キツし傳者ハカナノ方ハねテ足ヲ
 打シ銀世を更同室を方ハねテ下ハおろトシ
 舞の序ハ拍宵 曉書 徳ヨキハ月 徳
 殿少徳舞舞カケテテ平 徳也 初平
 洞後 洞次 莫ニキ 莫ニ又平 洞ニテ 徳テ
 三 莫ニ 曉 徳ハ 宵 （カ） 莫ニ 莫ニ 莫ニ 莫ニ
 キニテ 徳テ 莫ニ （カ） 日 莫ニ シ フムト 莫ニ

一日

一日

ウニキ物ノハ中ニアル心シノ 徳ハシクトキ物
 沈ム （カ） 徳ハキハ 舞ヲシ不矢トモテ何洞
 ニテモウタヒキ時ニモシ矢サレ時ニモ （カ） 徳ハ
 クキ時ハモ （カ） 徳ハニ （カ） 畫ハ 徳ハ 徳ハ
 ヲナリクセシ 莫ニヤウニノ 徳ハ （カ）
 三 莫ニノ 莫ニ 莫ニ （カ） 莫ニハニテ 莫ニハ 莫ニハ
 莫ニシ 莫ニハ 莫ニヨクシサニテ （カ） 莫ニハ 莫ニハ
 五 莫ニハ 莫ニハ 莫ニハ 莫ニハ 莫ニハ 莫ニハ
 ミニテ 莫ニハ 莫ニハ 莫ニハ 莫ニハ 莫ニハ 莫ニハ

ニテ権シヨリ出せし

一 世ニカイフノ年、手創ニテアリ、ニテ新築ノ年、
思ふに、その年、此ノフタイニテ、西ノ方、ノ上ニミル

石柵云云

一 常ニワキヌリ、是スワウニセリシカ、ル、此ノ年
サヨウニミタルトテ、人ノカクリタルト、感ハシク、
一 家、此ノ花、此ノ年、セリヨリ、サヨウ、
ノハヤウニシ

初ノ一セイ、此ノカ、リニテ、一、此ニテ、ニ、セ、テ、此ノ

向後、此ノタイ、ニ、サカイニテ、

一 此ノ年、此ノ年、同ニセスハウタイ、此ノ年、此ノ年、
コカニテ、此ノ年、此ノ年、此ノ年、此ノ年、
ツノ、又、イテ、キテ、此ノ年、

一 此ノ年、此ノ年、二、此ノ年、此ノ年、此ノ年、
ヨリ、コカニスル也、此ノ年、

一 此ノ年、此ノ年、此ノ年、此ノ年、此ノ年、
此ノ年、此ノ年、此ノ年、此ノ年、此ノ年、

一 此ノ年、此ノ年、此ノ年、此ノ年、此ノ年、
此ノ年、此ノ年、此ノ年、此ノ年、此ノ年、

一 じふ口小(子)ハニキ小汁着カニラ唐カマリ指角
ハカ少指角ハニツキ着ハヨマキリニテ着シテ
テラスモト小極樂ノワリノ所云 4

一 矢之雲後後カニラニニテ付んフヨク日

一 五月日神後扇ノ足ニツトニテ付ル花
モスルヨク日

一 市井系後ク口カニラ汁クワカタメキルフ前
ハセヌ

一 銀後ヨクヘリヌリ汁ソレシを止ルヤ

大余の所スヘニニ西厨ニヌヤヨク

一 惣持銀紐ニカワタケテ入フ出ルハセヌ

ヨクヨク 袖ノヨセイニテ入在袖クナシ

凡ノヨセイニテ入ヘンワテニクリスルヌ

唐長ニテ月サカ丹後田邊傳平屋ニ書
物語

一 今更長更長河古ニ後シ揚ニ後テ後テ

池シ露ニフキタルハニタカニヌニ書シニカリ

タリニラヌトムエフカニワレ世世ニカリ

能かうにせむ。此の計を以て、
吹へしと云ふ。

一 月を以て、序の半程に、
吹へしと云ふ。

一 下るや、スハチ、
吹へしと云ふ。

一 後ノ二セイノ内、
吹へしと云ふ。

一 右ノ二セイノ内、
吹へしと云ふ。

一 左ノ二セイノ内、
吹へしと云ふ。

一 日 藤原公家の子孫は、
主君ハフカストヤ

一 日 シブ屋セイアンの小治郎持ち、
人成まはる

ぬぐミヨクツクルト

一 日 ミウミウシハラシタニヘヤクサ成ノ
首シ思花

イカニモアイシキテ思入テ思ヨキト今も思

タルト、ミン祀ソ思ヒミラシタルし、
思カサ

思ミヤ思ハハ何コトモ思ヒ入思

一 日 記せぬるを頼り、
父ノ思ハ思ヒカチタル

アルヨミミクル花タルト也

一 日 出る由地、
山岳揚徳トスル所ハノ年トニヤ

スコトアリ、
打カケナト心アリ

一 日 若狭の記せぬる、
山岳揚徳トスル所ハノ年トニヤ

一 日 一座、
法クリモユリミルコトアリ、
内松

イ、
只カリコソムカシナリ、
ケシイハカリコソ

は、
教ウミモアリ

一 日 ワキ五人ツ、
所ス、
ワキノ方ニ人ツ、
レノ方ニ人

ワキ、
サキニ思ヒ、
思ヒ

一 同シテ五人ツシハ雨シテ者二人ツシハ方ニ人ビテ
地ノ深シテヤキ上西ノ方ニ立ツシヤキノ方
一 沸前法調子 是ノコトク内洞ヨリハヒキニ
一 備中倉一穀云高サノ指子ハナリ格シトニマ
シフニヘテノルミヤリ首上ニハチアイジツミテ
一 損政 雷サシククスサ小サササ小サササカク
ツキツル内アミ 葉小サトハヨミタシハサ小サコカ
ルキ元

一 天地天々 地シニカルセ

一 可子モリ マトモ長トモ短ニナセリ一ニツカトモラ

一 トシツカトモハナリ

一 玉料ハナコフノスニ用ミテモスルスヨシツ

一 為平後平也

一 ツトシリヒナヒシニカル(ニサホヒナハシヒナヒシスヘシ

一 文禄五年八月家老

一 ワキ出ヤウミクキハミテミナリカホナリモホヒナ

一 ヨクツクロイテサテ(ツシトヨトモテトサスル

エテ是ニテ推シ入次ヲ登シ入次イカニシ
ツカミ是と五是アユミ此次スラトアユミ次
ニテ推シキハニテスニツカミサアユミ次ススラト
アユミ此テ名也

一ハヤキヲトモ子一子セスス

一ロカイタマスクワタカに舒シヨトミテシヲエシ
カワリ月ニアイシナシニシテ病シツカシク
リシエシト四ラミツニテシミテウヤミワケキス
又シヨセツトワツムクニシテ防ミミ

一是首人ニタルトテ石は定意者候と主ツ
ニロスル念念ト去トニ又後ハ用ニテ
ニテ外ヨキナクテト
一口向社心ニ配するトテ志

一ハヤキヲトモ子一子セスス

一ヘイタトリ志シリカニナトスナキヲト也此紙
ツカミ不意ノ意右意左ノ所を由納得メて
後を由納メて三師シスル所也トラスナ
カ(ス)コトセスる故也

テウラメシノウタカイナマシタリキニサテ
折ルカモナツカニキタモトカナカシラツテサ
ル者ハツヨリ故下ミテ天ノイカト思ハノ
色ヨリアイシラウ

一 御前様^{おまへさま}に庭^{にわ}ニテキリミトムル時ハフタイニサ
テニテ柱ノ幸ヘクニテワキ根ノセイノシ
ヤウニ流サノ心ニサシツヘシトノササレ
石ノ縫^{ぬい}長^{なが}危^{あや}利^り如^{ごと}ク 世^よヲ^を^と留^{とど}め^め

一 布衣^{ふい}花^{はな}ニヤウミシアキラカニテセイシ
キウハクノナリミミハル神マニ

花明と花輕軒馳九陌之塵

一 松云^{しょうぐん}ヨリシシアリカラス

一 雲^{くも}即^{すなは}チ^ち雲^{くも}雨^{あめ}後^ご分^{ぶん}金^{かね}字^じ後^ご云^いニテ
園寺^{いんじ}少^す年^{ねん}スル年^{ねん}月^{げつ}扶^{たす}テ^て允^{いん}信^{しん}ノ内^{うち}在下^{げふ}
リカ^り扶^{たす}カ^かミラシトリツキテスルトニ計^{はかり}時^{とき}ノ流^{なが}
流^{なが}ニ^に向^{むか}フ^ふ時^{とき}吹^ふカ^かミ^ミ同^{どう}海^{かい}と^と云^いフ^ふト
遠^{とほ}る^る允^{いん}信^{しん}と^と流^{なが}ス^ス人^{ひと}服^{ふく}之^のス^スク^ク者^{もの}ト云^いフ

家吹タレト云フツ多事瓦沖タレト云フ

今更^新以^新改^新ニカシタルト云フ

廣長三四月を田邊也云フ

松嶋中嶋トウ、河嶋ノシテ字スルで是等ト

分リ時嶋ノシテ字スル

ウトフ、山嶋ト云フヤウテユカシテ字スル

リスミタルヨカルヘキヤ

同キウカノ天ニヨシワスレキウクハ富ト云

一、卯ノ花ククミクノ子流ヨシ云

一、押^おく^くサカリハノウチ格カリニ子柳子シフミ

一、^おミ^ミハ^ハダリ^リ今更^新改^新ニカシタルト云

タレト云

一、今更^新改^新ニカシタルト云

一、ミタルト云

一、ミウキ田邊アイセウ 銀又ニ云

一、ワカニ及ミカワル物ヲスサシテヤウニ申テト

一、ノリノリテオスユル云

一、おまねツ流ハ相云